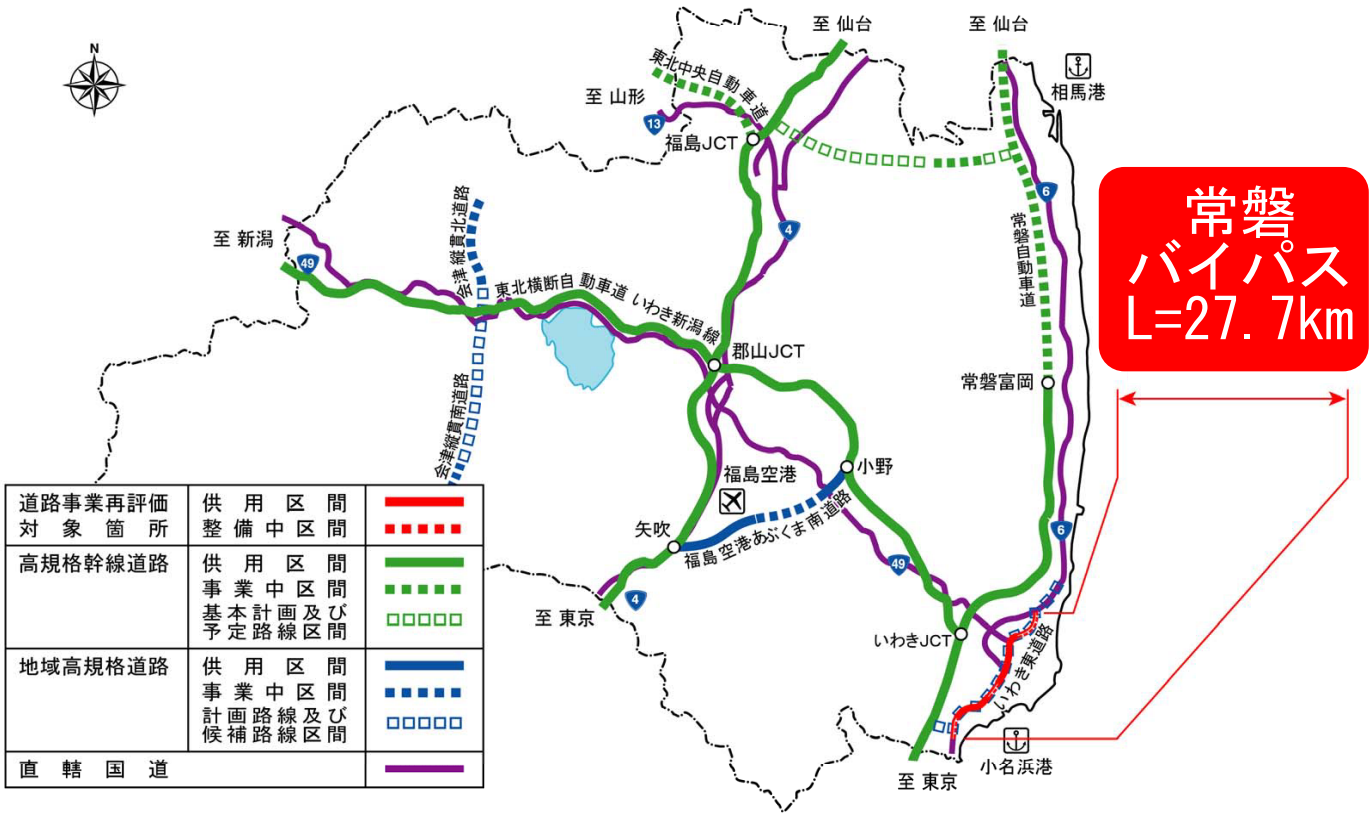
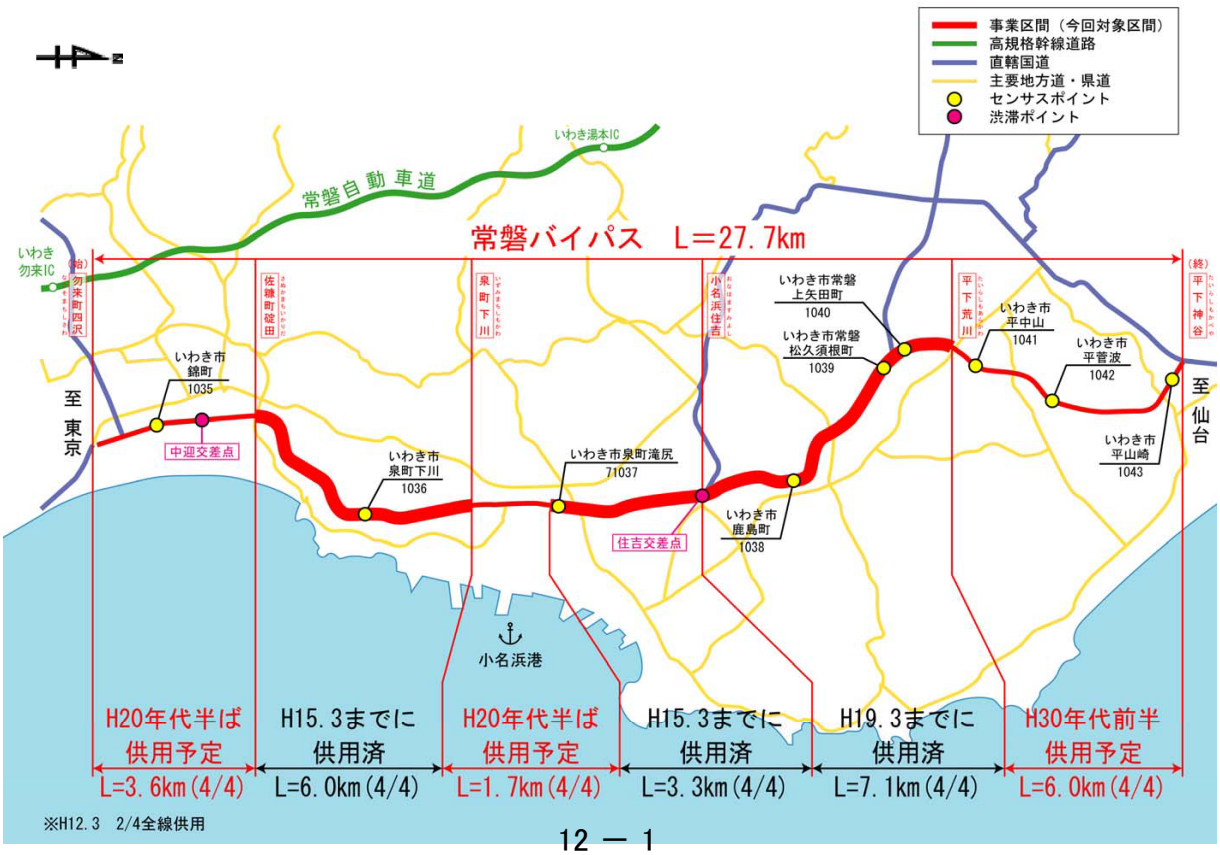
一般国道6号　常磐バイパス



事　業　実　施　状　況



一般国道6号　常磐（じょうばん）バイパス

【評価要件：前回再評価後5年経過】

〇事業の目的
- ・いわき都市圏の産業経済基盤の整備
- ・安全・円滑な都市交通の確保・改善
- ・救急医療サービスの向上　等

〇延　　長 ： L=27.7km
〇事業費 ： 1,040億円
〇事業化 ： 昭和41年度
〇進捗率 ： 87%

事　業　の　投　資　効　果

〇費用便益比（B／C）
※下表の数値は、基準年（平成20年）おける現在価値に換算した金額を記載

【残事業】

費用C（現在価値）	123億円
便益B（現在価値）	504億円
費用便益比　B／C	4．1

計画交通量（平成42年度）
・常磐バイパス＝30，100台/日　・現道＝13，500台/日

（参考）

費用便益比（Ｂ／Ｃ）

【前回再評価時のＢ／Ｃ】

【残事業】３．７　【全　線】２．８

【今回再評価時のＢ／Ｃ】

【残事業】４．１　【全　線】１．４

（前回再評価時の計画交通量）
常磐バイパス＝４１，８００台／日
現　　道＝１４，７００台／日

（今回再評価時の計画交通量）
常磐バイパス＝３０，１００台／日
現　　道＝１３，５００台／日

対　応　方　針　（　原　案　）

○早期整備の必要性が高い。

・いわき都市圏の産業経済基盤の整備

・安全・円滑な都市交通の確保・改善

・救急医療サービスの向上　等

○地元自治体等からの事業促進の要望がある。

事業を継続実施